

令和8年度 扶桑町教育委員会基本方針

扶桑町教育委員会は、教育基本法の理念に基づき、「ともに支えあい、学びあい、未来へつなぐ扶桑の人づくり」を推進するために、事業を計画し、実施します。



町の花 ひまわり

第5次扶桑町総合計画（2018～2027）

みんなの笑顔が かがやくまち 扶桑町

◇みんなで学び育む ～次代と豊かな心を育むまちづくり～

◇みんなで支え合う ～ほっこり暮らせるまちづくり～

全 体 目 標

- 自尊感情を育み、知・徳・体の調和のとれた子どもを育てます
- まちの未来を見つめ、郷土を愛する子どもを地域とともに育てます
- 生涯にわたる学びやスポーツを通し、町民の豊かな暮らしを創ります
- 文化の香り高いまちの創造に向け、幅広い文化事業を推進します

1 知・徳・体の調和のとれた子どもの育成のために

- ◎ 学びを子どもたちに委ね、子どもが主人公になる「主体的で対話的な深い学び」の研究を推進する
* 小学校低学年においては、「読む」「書く」「聴く」を中心とした基礎学習を通して「学びに向かう姿勢」の基礎定着に取り組む
- ◎ G I G Aスクール構想第2期を迎え、扶桑町教育研究会組織(校長会)と連携し、タブレット端末を有効に活用した探究型の授業改善(個別最適化と協働的な学び)を推進する
* 指導要領改訂の主旨を理解し、特色ある教育課程編成を模索する
- ◎ 生涯学習課や総合型地域スポーツクラブ「NPO法人わっと楽しくスポーツふそう」と連携して、中学生の地域スポーツ・芸術文化活動の居場所づくりを推進する
* 地域クラブ活動の実証事業の継続・平日の実証事業開始、夏以降の地域クラブ活動・文化協会・誠信高等学校との連携を開始する【地域クラブ活動推進事業】
- ◎ 子どもたちにとってウェルビーイングな学校を目指して、教職員がゆとりをもって子どもたちと向かい合う時間の確保に努めるために、カリキュラムマネジメントによる年間標準時数削減・教育DXなどの施策に努める
* 業務の効率を図るためにDXを推進し、効率化を図り、教員が子どもと向かい合う時間を増やし、教材研究等の本来の業務に集中できるようにする
【扶桑町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画】
- 充実した学校生活と確かな学力の定着のために二学期制を継続する
- 教員の資質向上のために、指導主事による少経験者指導を実施する
- 小学校「外国語科」と外国語教育の充実を図るために、小中学校にALTを派遣する
- 道徳性や道徳的実践力を育むために、特別の教科「道徳」を重視し日常的に道徳教育を推進する
- 望ましい勤労観・職業観の醸成のために小中キャリア教育を推進する
- 栄養教諭を中心に、学校給食共同調理場と連携し食育及び地産地消の推進を図る
* 調理場での保護者向け「給食試食会」を実施し、食育推進と学校給食への理解を深め、不登校児童・保護者向けの企画も今後研究する
- 町内小中学校全体で読書活動を充実させ、豊かな心を育てる
- 扶桑町防災ガイドブックを活用し、安全教育を推進する

2 一人一人が大切にされる学校生活のために

- ◎ 発達の特性に応じた豊かな学校生活が送れるように、支援の必要な子どもを早期に発見し、自分らしく学校生活を送ることができるよう町特別支援体制の構築を目指す【教育支援ソフト導入事業】
* 客観的なアセスメント・個別支援計画・教材作成・教師研修・保護者理解を進めるために情報のDX化を推進し、情報共有の効率化を図る。同時に関係機関との連携を図り、保健センター・つくし学園・保育幼稚園との切れ目のない支援体制の在り方を研究し、教育支援ソフト(リタリコ)の効果的な活用を図る

- 不登校をはじめとする様々な困難を抱える子ども・家庭に対し、教育支援センター（あいあい）の相談体制を強化し、スクールメンタルサポーター（SMS）・スクールソーシャルワーカー（SSW）、さらにスーパーバイザー（SV）を配置し、チームで課題解決を図り、「新たな一人」を出さない体制づくりに努める
- 発達障害のある児童生徒のために、通常学級に特別支援員を配置する
- 食物アレルギー対応として、個に応じた除去食・代替食等を実施する
- 子どもたちの健康と安全な生活のために、大規模校には養護教諭補助を加配する
- 医療的支援の必要な児童生徒には、医療的ケア支援員を配置する
- 教育相談体制として、「こころの電話ふそう」による電話相談を実施する
- いじめ問題対策連絡協議会・いじめ問題専門委員会を開催し、いじめ問題の予防・解決を図る

3 未来ある子どもを地域とともに育てるために

- ◎ 学校運営協働協議会運営委員・地域学校協働活動推進員を委嘱し、「地域とともにある学校づくり【コミュニティスクール】」を推進する
* P T A 活動の今後の在り方について、地域学校協働活動と関連させゆるやかな包含を模索する
- 登下校を見守るスクールガード・読み聞かせ団体等をはじめ、各地域ボランティア活動や「土曜教室」「子ども広場」等の既存の地域支援活動を関連づけ、各校の地域学校協働活動の活性化を図り、「学校を核とした地域づくり」に努める
- 放課後学習活動支援として、「土曜教室」を4小学校区の学習等供用施設で開催する

4 よりよい教育環境の整備に向けて

- ◎ 校舎大規模改造事業（中学校2校体育館空調工事・扶桑中学校非構造部材耐震化改修・小中学校LED照明設置工事設計）を行う
- ◎ 小学校の給食費無償化（国の施策）と中学校の給食費無償化（国の交付金による町独自の施策）を実施する【扶桑町立小学校児童学校給食費無償化事業・扶桑町立中学校生徒学校給食費負担軽減事業】
- ◎ 熱中症対策として、各小学校の各教室に冷凍庫を設置する【熱中症対策事業】
- 経済的に就学困難な児童生徒へ、要保護準要保護児童生徒援助を行う
- 特別支援の必要な児童生徒へ、特別支援教育就学奨励費を支給する
- 「聴講生制度」により、学び直したい町民（以外も可）に学校で学ぶ機会を創る

Ⅱ 生涯学習

1 学びやスポーツを通して、町民の豊かな暮らしを創るために

【中央公民館】

- 子育ての基本姿勢として「新『扶桑町 我が家の子育て憲章』」を示し、地域が一体となって子どもと向き合う家庭教育の推進、普及を図る
- 家庭教育推進事業講演会を開催し、健全な家庭環境づくりを啓発する
- 子ども会連絡協議会と連携し、スポーツイベントを通して世代間交流を図る
- 扶桑町文化祭活動発表会（女性の会・老人クラブ連合会・文化協会）、各種行事を創意工夫して開催を支援する
- 各世代に対応した学習機会として、生涯学習講座等の提供をする
- 青少年健全育成・活動〈二十歳のつどい等〉の充実のため、各種事業に対する支援や啓発を行う
- 地域ぐるみで子どもたちを育むために、地域学校協働活動を推進し、学校職員や地域学校協働活動推進員の研修を進める
- 子ども課と連携して、放課後の子どもの「居場所づくり」と「心豊かな体験活動の実施」に取り組む

【総合体育館】

- スポーツ推進委員会を開催し、扶桑町のスポーツ振興について協議し、各種事業を企画・運営し、明るく豊かなまちづくりを目指す
- 町内小中学校体育施設を一般開放し、運動する場を提供し、スポーツの振興を図る
- ニュースポーツ活動や各種スポーツ大会を通して、町民が日常的にスポーツを行っていく機会を拡大・支援するとともに、指導者の育成を図る
- ちょこチャレ、ふれあいソフトボール大会、わくわくスポーツフェスタ、スポーツフェスティバル、走ろう会、愛知県市町村対抗駅伝競走大会、ミステリーウォークなどを実施する
- 「免疫ケアで健康習慣」をのテーマをもって、扶桑町民の健康増進の広報活動をする

【図書館】

- 図書館協議会を開催し、図書館環境の充実について協議し、他市町の図書館を視察し、読書活動における豊かな学びを目指す
- 図書に親しむ乳幼児（親子）・児童を対象とする事業を工夫し、充実させる
- ボランティア団体の方々との協力を図り、協働して子どもたちに読書活動の推進を図る
- 図書館だよりや各種図書リストを発行し、読書活動の啓発を図る

2 文化の香り高いまちの創造のために

【文化会館】

- ◎ 「文化の香り高いまちづくり」を推進するため質の高い文化芸術活動に触れる機会を創るとともに、町民の自主的な文化活動・創作活動の発表の場を提供する
- 文化会館の特性を最大限に活用し、歌舞伎、狂言、落語などの伝統芸能や文化を鑑賞できる質の高い文化芸術活動を推進する

- 広いジャンルの文化に触れる「ふそう文化大学」を年4回開催する
- 次世代を担う子どもたちの豊かな心を育む親子鑑賞会の開催や、年齢層の拡充に努めた魅力ある「ロビーコンサート」などを開催する
- 地域文化の担い手を発掘し、町内の学校や地区コミュニティ等が実施のイベントに登録アーティストを紹介する

【中央公民館】

- ◎ **文化財資料室（中央公民館内）を整備し、本年度中に開室する**
- 文化財環境保護保全のため、文化財保護審議会を開催するとともに関係者や地域との連携を推進する
- 扶桑町指定文化財に対して文化財保護補助金を交付する

【総合体育館】

- コースの途中に町内の文化財や施設等を取り入れ、参加者が探索して歩く「ミステリーウォーク」を実施する

3 よりよい生涯学習環境の整備

- ◎ **図書館システム機器の更新を実施する【図書館システム機器更新事業】**
- ◎ **学校体育施設スポーツ開放については、体育館使用料やエアコン使用料を受益者負担とし、持続可能なスポーツ施設の運営に努める**
- 各施設を充実させ、町民が施設を安全に快適に利用できるように努める
- 各館のホームページの更なる活用を図り、さらに扶桑町公式LINE、フェイスブックの有効活用により情報を発信する文化の発信施設としての役割を果たす
- 体育施設のインターネット予約システムの利用を推奨し利用者の利便性を図る
- ふそう文化会館夢応援団と扶桑文化会館友の会との協働に努め、ボランティア団体の育成を推進する
- 青少年に芸術がより身近に親しめるよう環境の整備をする
- 文化会館の設備更新等の「実施計画」「長期事業計画」の再検討を実施し、優先順位を定める